

NIIの即時OA開発内容に関する説明会一きょう

第3回(2025年7月4日)

- テーマ:NII RDCでの即時OA対応
 - 全体説明 谷藤幹子
 - GakuNin RDMとJAIRO Cloudの連携について 林正治
 - JAIRO Cloud OAアシスト 河合将志
 - モニタリングについて 西岡千文

NIIの即時OA開発内容に関する説明会

• 第1回（2024年11月1日） <https://rcos.nii.ac.jp/OpenAccessNii20241101/>

- 全体説明 山地一禎
- JAIRO Cloudについて 林正治・河合正志
- GakuNin RDMについて 込山悠介
- モニタリングについて 西岡千文
- 認証について 鈴木彦文

【参加者】申込591名、最大接続469名

【参加者の声】

- これまで見えにくかったNIIの即時OA取組の全体像がざっくり把握できた



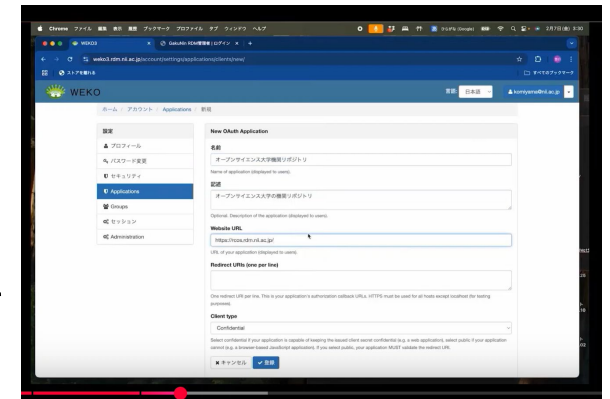
• 第2回（2025年2月7日） <https://rcos.nii.ac.jp/OpenAccessNii20250207/>

- 即時OAにおけるJAIRO Cloud連携機能について 込山悠介・林正治

【参加者】申込394名、最大接続316名

【参加者の声】

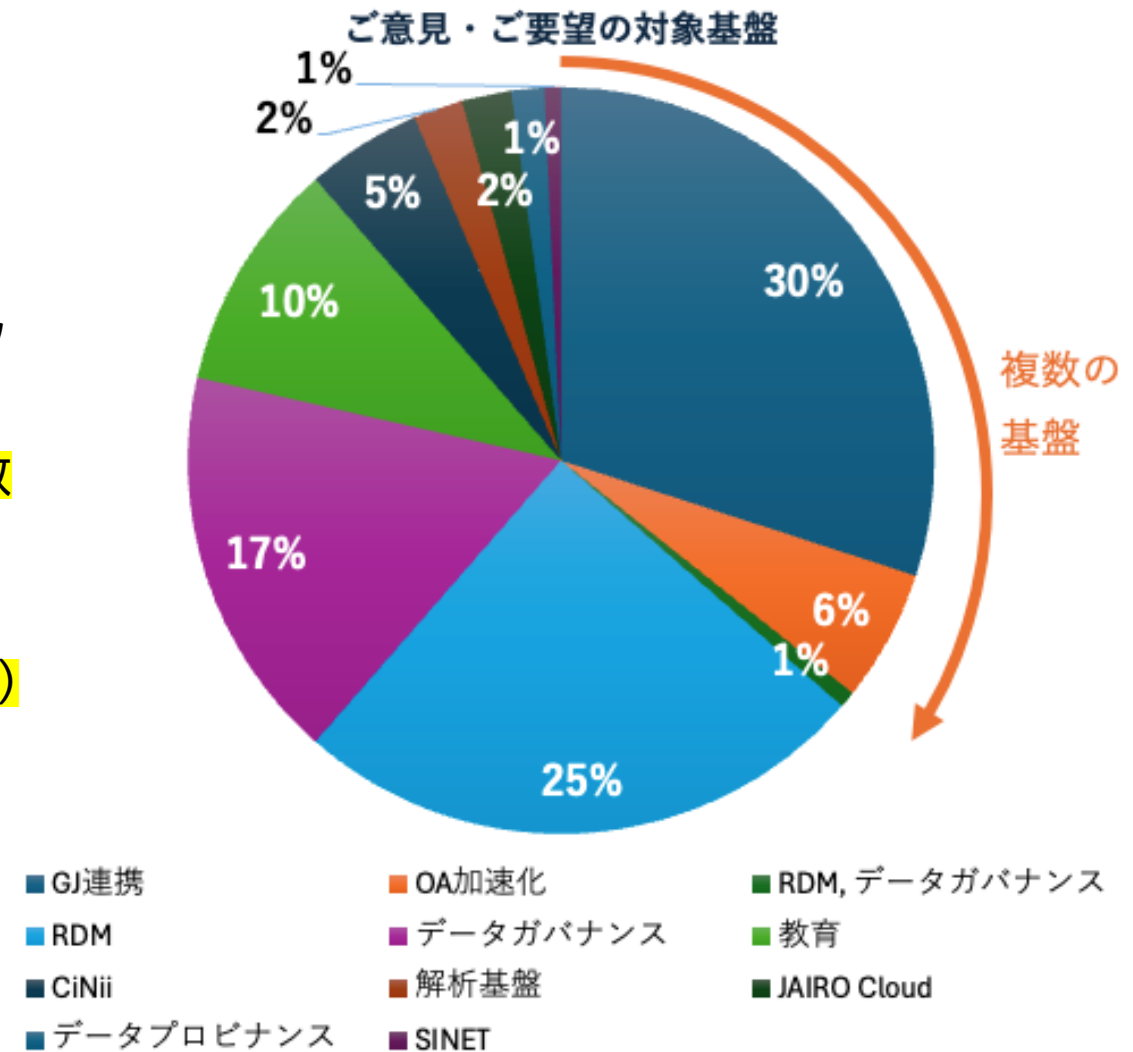
- 動画を使った説明など工夫されていて、理解しやすかった
- 現場の視点に立ったご意見やご回答を伺えたことを心強く感じた



NII Open Forumへの参加をありがとうございました

ー RDCの基盤・サービスへのご要望

- 複数の基盤にまたがるご要望が多く寄せられました
 - ・ 科研費以外の即時OA方針の対象も把握できるようにしてほしい(2)
 - ・ 機関内の非OA論文を探したい時, OAアシストとCiRダッシュボードをどう使うべきか(2)
 - ・ データ管理→公開の結果として, 公開成果物のアクセス数を知りたい(4)
 - ・ 秘匿解析機能はどのような公開にあたるか(5)
 - ・ GRDMとJAIRO Cloudの連携の自動化や一括連携(6)
 - ・ 登録通知機能の追加(6)



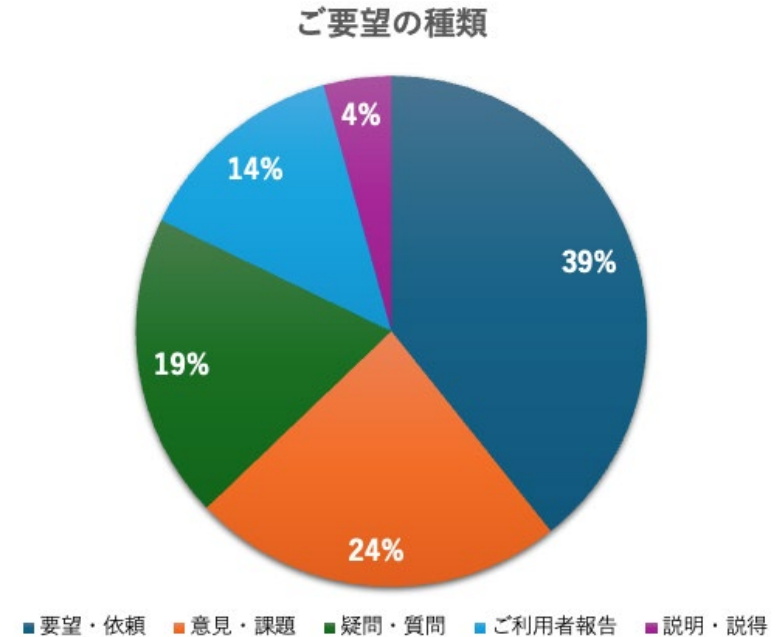
※数字は、セッションを示す。2: OAポリシー履行支援のための新システム, 4: 何から始める？研究データ管理基盤「GakuNin RDM」, 5: ガバナンスで進化する研究データ管理, 6: GakuNin RDM × JAIRO Cloud連携 意見交換会

※グラフは、会場およびSlidoで寄せられたご意見(2025/06/16-18, N=140)

NII Open Forumへの参加をありがとうございました

- 学内展開や利用推進に関する双方向の議論

- ・ 中小規模の機関で、具体的にどこから始めればよいか分からない(1)
- ・ コンソーシアムからの支援や、アンケート調査の分析支援が、学内におけるRDMの定義付けと推進に大きく貢献した(1)
- ・ データ二次利用の障壁に対応する制度づくりを行った(5)
- ・ 大学等によるボトムアップな取り組みが重要(3)
- ・ 学生と教員の権限区別が難しい(6)
- ・ 小さな大学がRDMを行う際に最低限必要な担当部署, スタッフは?(7)
- ・ 教材制作者間のネットワークづくり、情報交換の仕組みづくり(8)



- 研究データ, 論文公開における(メタ)データ登録等

- ・ 日本語論文を登録する際の必須メタデータは何か(英語は必須か)(2)
- ・ 研究データ公開後のバージョン管理に対応してほしい(5)
- ・ テンプレート保存・呼出機能があるとよい(6)
- ・ 体系的番号などからの自動入力支援(6)

※グラフは、会場およびSlidoで寄せられたご意見(2025/06/16-18, N=140)。要望・依頼、疑問・質問の他に、意見・課題や利用機関からの基盤に関する報告も多く、双方向に議論が進められた。

NIIの即時OA開発内容に関する説明会ーこれから

第3回(2025年7月4日)

- テーマ:NII RDCでの即時OA対応
 - 全体説明 谷藤幹子
 - GakuNin RDMとJAIRO Cloudの連携について 林正治
 - JAIRO Cloud OAアシスト 河合将志
 - モニタリングについて 西岡千文

次回からは

- GakuNin RDMやJAIRO Cloudにデータを送る
- 研究者が自分でデータ公開する

あたりにトピックを絞ってハンズオンを開催してはどうか、など考えています。